

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報 会社 **ホーザン株式会社**
住所 大阪市浪速区幸町1-2-12
担当部門 マーケティンググループ
お問い合わせ窓口 ホーザンテクニカルホットライン
電話番号 06(6567)3132
ファックス番号 06(6562)0024
製品番号 SAC-2
製品名 スーパーグリップコンパウンド

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 区分に該当しない
GHSラベル要素 : なし
その他の危険有害性情報 : 飲み込むと有害のおそれ

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 :

化学名又は一般名	CAS No.	含有量濃度 (質量%)	官報公示整理番号	化学物質 管理促進法 (PRTR法)	労働安全 衛生法	毒劇法
水素処理重パラフィン系石 油留分	64742-54-7	80-90	—	対象外	該当 168	対象外
Glass, oxide	65997-17-3	5-10	—	対象外	対象外	対象外
非晶質シリカ	112945-52-5	5-10	—	対象外	対象外	対象外

4. 応急措置

眼に入った場合 : 直ちに多量の水で洗い流す。
洗い流してからコンタクトレンズを着用している場合は外す。
その後も15分以上洗浄を続ける。
医師の診察／手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 水と石けんで洗う。
症状が出た場合は、医師の診察／手当てを受ける。
汚染された衣類や靴を脱ぐ。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をする。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
呼吸が不規則又は停止している場合は、人工呼吸を行う。
症状が続く場合は、医師に連絡する。

飲み込んだ場合 : 水で口をすすぐ。
意識がない場合は、口から何も与えない。
医師の助言なしに吐かせない。
飲み込める場合は、コップ一杯の水を飲ませる。
嘔吐が発生した場合は、誤えん防止のため前傾させる。
症状が続く場合は、医師に連絡する。

応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措置」を参照)。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

: データなし

医師に対する特別な注意事項

: 症状に応じて治療する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤 : データなし
特有の危険有害性 : 燃焼の際に一酸化炭素、二酸化炭素、ハロゲン化合物、金属酸化物を生成する。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は必ず空気呼吸器、防護服を着用する。
個人用保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 関係者以外は安全な場所に退去させる。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
十分に換気する。
換気が不十分な場合は、適切な個人用呼吸保護具を着用する。
眼、皮膚、衣類につけない。

環境に対する注意事項 : 危険でなければ漏れを止める。
土壌、排水溝、下水道、水路、地下水への流入を防ぐ。
必要であれば、関係省庁へ連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 危険でなければ漏れを止める。
粉じんの発生を避ける。
密閉できる空容器に回収する。
専門の廃棄業者に委託し廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱い注意事項 : 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わない。
適切な個人用保護具を着用する。
飲み込んではいない。
眼、皮膚、衣類につけない。
十分に換気する。
換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用する。
空の容器には危険な残留物が含まれているおそれがある。

保管

- 保管条件 : 元の容器に保管する。
日光から遮断し、換気の良い場所で保管する。
乾燥した涼しいところに置く。
容器を密閉しておく。
混触危険物質から離して保管する。
食品と一緒に保管しない。
容器は直立させて保管する。
関係法令の定めるところに従う。
- 混触危険物質 : 酸化剤、還元剤、可燃性物質、有機物、金属、酸性物質、アルカリ性物質、水分
- 安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 :

化学名又は一般名	許容濃度	
	日本産業衛生学会	ACGIH TLV
水素処理重パラフィン系石油留分 CASNo.64742-54-7	—	TWA:5mg/m ³ (オイルミスト、ミネラルとして) STEL:TWA:10mg/m ³ (オイルミスト、ミネラルとして)
Glass, oxide CASNo.65997-17-3	—	TWA:1 fiber/cm ³ 吸入性繊維:長さ>5µm、 アスペクト比≧3:1 メンブレンフィルター法 TWA:5mg/m ³ 吸入可能な粒子状物質
非晶質シリカ CASNo.112945-52-5	—	10mg/m ³

- 設備対策 : 作業場には眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
排気／換気設備を設置する。

保護具

眼及び／又は顔面の保護具

- : 保護眼鏡を着用する。

- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性の手袋を着用する。

- 呼吸用保護具 : 適切な呼吸用保護具を着用する。

適切な衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしない。
 取扱い後は顔、手、ばく露した皮膚をよく洗う。
 飲食又は喫煙の前に手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態	: 半固形
外観	: 青色
臭い	: マイルド
臭いの閾値	: データなし
pH	: データなし
融点／凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: 201.67°C
蒸発速度	: データなし
可燃性(固体、ガス)	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
水に対する溶解度	: 不溶
溶解度	: データなし
n-オクタノール／水分配係数(log値)	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
可燃性	: 不燃性
爆発性	: データなし
酸化特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件では安定
危険有害反応可能性	: 通常の手扱いはなし
避けるべき条件	: 201.67°C以上の温度
混触危険物質	: 酸化剤、還元剤、可燃性物質、有機物、金属、酸性物質、アルカリ性物質、水分
危険有害な分解生成物	: 通常の手扱いはなし

オゾン層への有害性 : データなし
その他の悪影響 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方法 : 廃棄物の発生は、可能な限り回避又は最小限に抑える。
: 関連法規制並びに地方自治体等の基準に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
未処理のまま下水道に廃棄しない。

汚染容器 : 空容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : 該当しない
航空規制情報 : 該当しない

国内規制

陸上輸送 : 該当しない
海上輸送 : 該当しない
航空輸送 : 該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)
名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)
水素処理重パラフィン系石油留分 政令番号:168 鉱油

製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。
詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。

このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。
